



こんな本も読んでみましょう

選者：さいたま市立針ヶ谷小学校 教諭 鶴田 裕子

日本の
昔話

「ねずみのよめいり」

せかいでいちばんえらいおむこさんとは、だれだったのかな？

むかし、あるところに、ねずみのふうふがすんでいました。かわいいむすめのためにせかいでいちばんえらいおむこさんをさがしにいきました。いつもあかるく、せかいじゅうをてらしているおひさまにたのみましたが、おひさまは、くもさんがえらいといい、くもさんはかぜさんがえらいといい、かぜさんは…。

日本の
昔話

「一休(いっきゅう)さん」

とんちばなしでゆうめいな一休(いっきゅう)さんのおはなしです

一休(いっきゅう)さんは、小さいころからとてもりこうで、あかるく、だれからもかわいがられたおてらのごぞうさんです。「このはしわたるな」とかいてあるはしをわたったり、びょうぶにかいてあるとらをとんちでたいじしたりして、みんなをおどろかせました。このほかにもたのしいとんちばなしがたくさんありますよ。

おとぎ
ぞうし

「はちかづきひめ」

はちをかぶったおひめさまは、しあわせになったのでしょうか？

むかし、こどものいないふうふのゆめに、かんのんさまがあらわれて、こどもができたならその子がしあわせになるために、はちをあたまにかぶせてけっしてめがせてはならないことをつけました。はちをかぶったおんなの子が十三さいになったときにおかあさんがなくなり、ままははにいじめられて…。

日本の
昔話

「だいくとおにろく」

だいくは、おにのなまえをあてることができたのでしょうか？

むかし、あるところに、なんどはしをかけてもたちまちながされてしまう川に、はしをかけるように、むらびとたちにたのまれただいくがいました。だいくがかわでかんがえごとをしていると、大きなおにがあらわれて、目だまとひきかえにはしをかけてやるといいます。さて、ほんとうにおには、はしをかけてくれたのか？そして、だいくは目だまをとられてしまったのかな？